

# 令和3年度 水戸市立第一中学校 学校だより

第9号 12月1日  
協働，  
創造，  
感動を



令和3年も残りわずかととなりました。校内の木々も葉を落とし、せわしなく冬の到来を告げています。

さて、今学期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大のため国の緊急事態宣言が発出され、臨時休業、分散登校、そしてオンライン授業と、夏季休業明け、なかなか全員がそろっての登校ができない状況がありました。その後も多くの制限の下での学校生活でしたが、例年同様、一中生の一人一人がもつ底力により、様々な場面で活躍する一中生の姿が見られました。

## 一中の伝統行事「花と語るつどい」が行われました(第1学年)

代々の先輩方から受け継いだ「菊の芽」を、1年生は入学当初から大切に育て、大輪の菊の花を咲かせました。とはいえ、開花するまでには、相当な苦勞を伴っていました。休み中の水やり、台風接近に伴う退避…それらの苦勞の末、多くの方の目に留まる素晴らしい菊の花となりました。つどいでは、これまでの歩みを映像で振り返ったり、「なぜ一中では菊を育てるのか」を議題として、生徒によるパネルディスカッションを行ったりしました。午後からは、PTA役員の方々の協力の下、多くの施設に菊を展示することができました。本年度は新たに、茨城県立歴史館入り口にも展示をさせていただきました。歴史館の方から「大勢の方が足を止めて菊の花を見てくださいました」との、嬉しいお話がありました。伝統ある菊づくり、来年度の新入生にバトンを渡します。



## 令和3年度 日の縦祭合唱コンクール



本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、第3学年は一足先に駿優教育会館で、1・2年生は体育館で実施と、例年とは違った形での実施となりました。合唱コンクールのスローガン「伝えたい 未来へ響くハーモニー—Stay Heart—」を心に刻み、感染症拡大防止に努めながら練習に励んできました。

学年が上がるにつれ、その歌声には迫力と美しさが増し、聴く人皆に感動を与えました。特に3年生の学年合唱「大地讃頌」を聴いた1、2年生にとっては、先輩の歌声に圧倒されつつも、「自分たちも先輩のような合唱を完成させる」と新たな目標をもつ機会ともなりました。

## ギャラリーひのたて「北沢 努 展 —ひのたての森に棲む—」開催

12月23日(木)まで開催される「北沢 努 展—ひのたての森に棲む—」に向け、美術部の生徒が、彫刻家・北沢努氏と協働制作を行いました。北沢氏は、「自然と人との共生」をテーマに、ブロンズや石膏を造形素材とし、人と自然との形態を融合させる作品を世に送り出しています。

29日には、2年生が美術科の授業において、北沢氏と対話をしながら鑑賞する授業を行いました。本年度は一般公開は実施いたしません。保護者の方は事前申込みにより、12月10日の授業参観日に鑑賞することが可能です。是非ご覧ください。

